

キラキラ橋☆ほくほく！北斎

向島橋銀座商店街協同組合  
＜墨田区＞



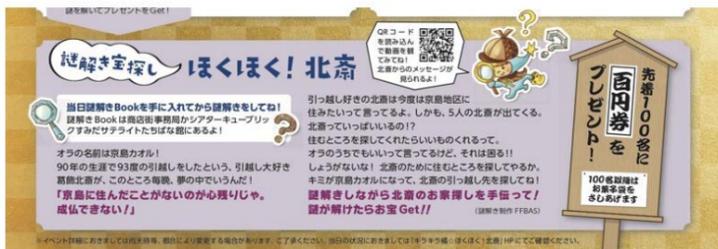
イベントポスター

事業の概要

地域学生・地元アイドルなどと協力しながら計画し、様々な企画を盛り込んだ2日間のイベント。メイン企画の「謎解き宝探し ほくほく！北斎」は、墨田区ゆかりの偉人葛飾北斎をテーマとした謎解きラリー。QRコードを活用することで、コロナ禍に対応した非接触形式で実施した。また、つまみ食いイベントや学生協力による子供向けワークショップなども実施し参加者全員が楽しめるイベントとなった。

評価のポイント

商店街全体をイベント会場とし、地域学生・社会人団体・地元アイドルなどと一緒にイベントを作り上げることで、若い世代やファミリー層を中心に集客に成功している。また、葛飾北斎という地域資源を活用しつつ、非接触技術を用いてコロナ禍でも楽しめるよう工夫した点も評価された。



北斎ヒント動画QRコード（QRコードを読み込むとそれぞれ動画が見られます）



▲QRコードを活用した謎解きイベントを実施



▲「帰ってきたキューピットガールズ」によるパレード

準グランプリ

ラッキー通りメロン育て隊

堀切ラッキー通り商店街  
＜葛飾区＞



メロン育て隊メンバー集合写真

事業の概要

地域や会員間のコミュニケーション活性化を目的に、地域住民とともにマスクメロン栽培を行った事業。メロン育て隊による店頭での栽培は地域の大きな話題となった。収穫祭では、大きなメロンを育てた参加者を表彰した。また、メロンをモチーフにしたオリジナルグッズ制作など数々のメロンにちなんだ企画を実施した。

評価のポイント

メロン育成栽培という共通のテーマを持ち、その目標に向かって工夫や会話を交わしながら、地域住民とのつながりを強めたこと、また、商店街のあらゆる業種のお店の店頭で店主たちがマスクメロンを育てるというユニークさを持ち合わせる点が評価された。商店街内だけでなく、地域全体を巻き込んでおり、年々内容を発展させ持続的な効果が期待できる。



審査対象のメロン

優秀賞

コロナに負きらん！  
沖縄タウン・エールプロジェクト

和泉明店街  
＜杉並区＞



事業の概要

コロナ禍の中、個店への財政支援や返礼品を通じたお客様との交流を目的に、学生たちの協力を得てクラウドファンディングを実施した。返礼品には、沖縄タウンならではの地元作家の刺繍入りトートバッグをはじめとした商店街のオリジナルグッズ、商品券等を設定した。店主からのメッセージをSNSなどで発信することで多くの人からの支援を得て目標額を達成した。

評価のポイント

学生ら若い世代の発想を大いに活用して、コロナ禍の厳しい状況の中、新しい手法で商店街の持続可能なモデルを示した点が評価された。また、集まった支援金は商店街活動の資金として活用する予定であり、今後の更なる活性化も見込まれる点が評価された。

優秀賞

高円寺純情小説プロジェクト

高円寺銀座商店会協同組合  
＜杉並区＞

事業の概要

昭和時代の商店街を舞台にしたフィクション短編小説をメインにした冊子「梅雨の子」を制作した。冊子には商店街の歴史や高円寺の文化についての内容を盛り込んだ。コロナ禍の情報を盛り込み、純情商店街らしさのある商品を「純情ブランド」として紹介するマップを作成した。また、バーチャル街歩き映像をWEB公開しコロナ禍でも商店街を楽しんでもらった。

評価のポイント

冊子には小説のほかに昔と今の街並みが比較できる地図を盛り込むなど、幅広い世代が楽しめるコンテンツを作成した点が評価された。また、小説の製作に合わせ、動画作成・純情ブランドの認定など、複数の取組により、商店街のブランド力を強化し、再活性化させた点が評価された。



優秀賞

拝島ハイボール事業

拝島駅前商店会  
＜昭島市＞



事業の概要

拝島の深層地下水を使用した炭酸水と多摩地域を代表する酒蔵が醸造したリキュールを使った「拝島ハイボール」の企画、製造、販売を実施した。あわせて「拝辛(ハイカラ)セット」というハイボールに合う辛いおつまみとのセットも各会員店舗で開発、SNSを通じてPRした。

評価のポイント

深層地下水などの地元資源を利用し、レシピは会員店舗が考案するなど、拝島ならではのご当地オリジナルハイボールを編み出した点が評価された。また、飲食店だけでなく他業種の会員店舗も参加し拝島の知名度を上げるとともに、多くの飲食店がこの取り組みをきっかけに新たに会員となった点が評価された。

特別賞

PRユニット(こまちーズ)事業

まえさわ小町商店会  
＜東久留米市＞

事業の概要

周囲から「こまちーズ」と命名された女性会員3人が、50周年を迎えた商店街のPRを実施した。近隣に住む若年層に向けて目をひくデザインの50周年記念冊子の配布や、「こまちーズ」をキャラクター化した動画をSNSで発信するなど、商店街の魅力を発信した。

評価のポイント

一連の取組を通じ、当初の目的通り若年層の来街が増加するなど、商店街の活性化に貢献している点を評価した。また、事業に携わった若手商店会会員が、商店街役員に就任するなど、組織の若返りが図れたことも評価された。

